

野球 2019年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会

準々決勝 彦根東 6 — 5 光泉

TEAM	一	二	三	四	五	六	七	八	九	R
彦根東	0	0	1	0	5	0	0	0	0	6
光泉	1	1	1	1	0	0	1	0	0	5

準決勝進出
県内ベスト4進出



速報新聞
発行所

キマグレ

彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

▶5回にヒットを放つ加藤陽也君（2—5）



5月3日に県立彦根球場で2019年度春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会の準々決勝が行われた。本校は光泉高校と対戦し6—5で勝利した。



▲今回の試合を継投した、上から市川君、中島君、中谷君、根本君



▲5回にホームへ生還した中島君

一回から三回まで相手の強力打線に毎回得点を取られていた先発の市川大翔君（2—6）だが、三塁手山岡右京君（3—4）の好守にも助けられながら3イニングを投げ抜き、続く2番手の中島大智君（2—8）も四回に1点を取られながらも、五回を0点に抑えた。

本校打線の反撃は、まず三回に相手のエラーから8番川嶋清太君（3—5）が出塁し、それをきっかけに3番中谷凌君（3—5）がレフト前にタイムリーヒットを放ち一点を返した。五回には9番中島君が初打席で三塁打を打ち、川口君の内野ゴロの間に1点を返した。そして四球とヒットで満塁とした後、6番森岡優仁君（2—3）のセンターフライを相手が落球し2点を得た。さらにセンターへのタイムリーヒットを放って一気に5点を得た。

馬君（3—2）が継投で相手打線を抑え、勝利した。

主将の川嶋君は「今日の試合は相手のミスで点を貰ったところもあるので思い通りの試合ではなかった。だから今は思い通りの展開に持ち込めるよう頑張りたい」と笑顔を見せた。五回に三塁打を打ち、逆転の口火を切った中島君は「秋からの怪我で練習量も落ちていたため出るようになったときは不安が大きかった。しかしバックの守備などのおかげで頑張ることができた」と試合を振り返った。五回にタイムリーヒットを放った森野君はタイムリーヒットを放った時のことについて「最初は相手に流れがあったが相手のミスからこちらに流れが向いて来て、そこから逆転することができた。タイムリーヒットは流れがこっちに来ていてることを感じ、思い切っ

て自分のスイングをした」とコメントした。監督の村中隆之先生は今回の試合について「2年生が公式戦で初めて投げた試合だった夏に向けてどれだけ生徒が投げられるのか確かめられた」と説明され、準決勝に向けて「次の試合も皆さんの投手をに挑戦させたいと思う」と見据えられた。